2013年度 第2回・参加型スキルアップセミナー

認知症の方の住まいの工夫

事例を通して「住まいの力」を考える

講師： 日本社会事業大学 大島 千帆 氏

2013. 9.28(土) 14:00～17:00

少子高齢化が進む日本。誰もが必ず高齢期を迎え、体力の低下や、認知症のリスクを抱えています。介護が必要になり、施設で暮らす選択肢もある一方で、在宅で、安心して住み続けられる住まいを考えておかなければなりません。

今年５月に「家族も安心 認知症ケア やさしい住まい・暮らしの工夫」（家の光協会）が出版されました。認知症の方やご家族の日常生活の自立をサポートする実用書です。著者の大島千帆先生は、認知症の方のお宅を数多く訪問して、どのような住まい・暮らしの工夫がされているかを丁寧に調査されました。本セミナーでは、その事例を通して、認知症の方やご家族の生活の実態を学びます。

例えば、転倒を防ぐ工夫や、トイレの場所をわかりやすくする工夫など、ちょっとしたアイデアが暮らしを改善する場合があります。

セミナー後半では、特に住まいづくりの視点で事例を見つめ直し、どのような住まいが安心感を得られ、その環境を役立てるための条件は何か、住まいに出来ること＝「住まいの力」について、ディスカッションします。

認知症の方にやさしい住まいには、超高齢社会を明るく支えるヒントがあるはずです。住まいづくりに携わる方、当事者の方、専門は問わず多くの皆様のご参加をお待ちしております。

講師紹介

大島 千帆 氏
Chiho Oshima

日本社会事業大学社会事業研究所特任准教授。社会福祉士、精神保健福祉士。博士（社会福祉学）。田園調布学園大学、早稲田大学助教をへて、現職。専門は福祉住環境。特別養護老人ホームの施設環境づくり、在宅認知症高齢者の居住環境に関する研究・実践に携わる。
著書に、『超高齢社会の福祉住環境』（中央法規出版、2008 年、共著）、『家族も安心 認知症ケア やさしい住まい・暮らしの工夫』（家の光協会、2013 年）等。高齢社会の住まいをつくる会会員。

本セミナーはCPD（建築士会継続能力開発）制度による単位認定を取得予定です。対象の方は、当日の受付時にCPD番号（または建築士番号・施工管理技士番号）をお知らせください。

会場

東中野「テラハウス」講義室
東京都中野区東中野4－2－3
●JR中央線・JR総武線・都営地下鉄大江戸線「東中野駅」東口下車駅前
●東京メトロ東西線「落合駅」下車徒歩10分

定 員：30名 （先着受付・当日支払制）
参加費：一般 3,000 円（高住会会員／学生 2,000 円）

↓お申し込みはこちらから↓高住会事務局 宛

※9 月 21 日までにEメールまたはFAXでお申込みください。

受付専用Eメール s-uketsuke@kourei-sumai.com
FAX 03-3996-5406

お名前（ふりがな） ご所属 ［ 高住会会員 学生 一般 ］○印をお付けください。

TEL／FAX E-mail

主催／バリアフリー住宅設計実務者ネット ・ NPO法人 高齢社会の住まいをつくる会
〒177-0033 東京都練馬区高野台 3-36-15-505 http://www.kourei-sumai.com